

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73208	3	後期	必修	5	225
授業科目名 (英文)	臨床看護学実習（急性期・慢性期） (Clinical Nursing Practice ; Acute Care and Chronic Illness Care)				
担当教員名	吉田 澄恵／阿部 恭子／新井 麻紀子／藤巻 郁朗／伊能 美和				
授業の概要及び到達目標					
○概要： 健康状態の変化により、様々な疾患や障害をもつ成人期・老年期の患者について、かかわりを通して看護のあり方を理解し、治療や検査を受ける患者に対する看護実践に必要な臨床看護実践能力を養う。 ○到達目標： 1. 様々な疾患や障害をもつ成人期・老年期の患者について、かかわりを通して看護のあり方を理解し深めることができる。 1) 様々な疾患や障害をもつ成人期・老年期にある患者の対象理解を、かかわりを通して深めることができる。 2) 医療を提供する場の状況に応じた看護を実践することにより、患者の回復過程に応じたセルフケア支援について考察を深めることができる。 3) 多様な健康問題をもつ家族・社会の一員としての患者の看護において、チームケアの必要性を理解することができる。 2. 治療や検査を受ける患者に対する看護を実践し、必要な看護について理解を深めることができる。 1) 療養の場で対象に行われる治療や検査を理解し、安全安楽に配慮した看護を実践することができる。 2) 治療や検査を受ける患者に対し、継続看護の必要性を理解できる。 3. 治療・療養が必要な患者に対する臨床看護実践能力を高めることができる。 1) 治療・療養生活を送る患者に対し、ケアを導く思考技術を用いて適切な看護が実践できる。 2) 治療・療養を必要とする患者に対するケア技術向上に向けて、自己の課題を明らかにすることができる。					
準備学習等					
・実習で受け持つ患者理解に必要な専門支持科目、専門職の教育の科目について関連づけて学習しておくこと。 ・臨床で必要な看護技術を e-learning で復習しておくこと。					

成績評価の方法	実習施設での取り組み 90% 目標に対する看護実践に対するふりかえり 10% 上記を合わせて学習への取り組みを総合的に評価する。
テキスト	特に指定しない。
参考図書	実習状況により適宜紹介する。 ① 「周手術期看護論」(雄西智恵美・ヌーベルヒロカワ, 2009) ② 「周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体」(鎌倉やよい・医学書院, 2008) ③ 「急性期看護のアセスメント」(小澤知子・メディカ出版, 2011)
備 考	本科目を受講するにあたっては、終生期看護援助論、基礎看護援助実習Ⅱ、臨床看護論Ⅰ(急性期)、臨床看護論Ⅱ(慢性期)の[c1]単位取得が前提条件である。 本科目の相談等について、オフィスアワーは履修案内を参照すること。
授 業 計 画	
I. 実習場所 JCHO 船橋中央病院、JCHO 千葉病院、JCHO 東京城東病院、JCHO 東京新宿メディカルセンター、JCHO 東京山手メディカルセンター II. 実習方法(実習は 45 時間/週×5 週間: 225 時間とする) 1) 1 週目 1 日目は、科目オリエンテーションをおこなう。 2) 各自が 5 週間のうち、急性期の患者、慢性期の患者を 2 つの病棟で、各 1 名以上担当する。また、手術室実習を急性期で 1 日以上、外来実習を慢性期で 2 日以上行う。さらに、状況に応じて、集中治療室実習、救急外来実習、透析室実習、リハビリテーション室実習などを組み合わせることがある。(詳細なスケジュールは、科目オリエンテーションの際に示す) 3) 病棟実習では、受け持ち患者のケアプランを立案し、病棟看護師とともに担当し、看護チームの一員として、看護実践を行い、評価し、看護チームにケアプランを引き継ぐ。 4) 5 週間のうち、適切な時期に、教員と臨床指導者が連携し、実際の患者に行う看護技術に関連した臨床講義と演習を行う。 5) 5 週目は、自身が行った看護実践をナラティブに記載し、教員やグループ学生とともにリフレクションを行い、自身の発見したことをレポートに記載する。 6) 実習時間 8:00 から 16:00 *ただし、実習内容、患者の状況に応じて変更する可能性がある。 7) 実習記録は 5 週目最終日に提出する。	